



## 第 1654 回例会

平成 23 年 4 月 11 日 (月)

12:30~ 海南商工会議所 4F  
会員卓話 会長エレクト 田村 健治君

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. 出席報告  
会員総数 65 名 出席者数 46 名  
出席率 70.77% 前回修正出席率 69.23%

### 4. 会長スピーチ



た」からはじまる、あの言葉が本当によかったですと色々なところから反響が大きくなっています。よく、開催してくれました。自肅ばかりでは日本は「だめ」になります。通常の活動をしましょう。

あと 2 カ月の任期ですが、精一杯 RC をやって、楽しみたいと思います。この週末、友好クラブ締結に宮崎へ行ってきます。あのクラブの 25 周年式典で行う予定です。国内クラブとの友好関係と言う新しいページが始りだと思います。手に手つないでやっていきたいと思います。ありがとうございました。

### 6. 幹事報告 幹事 上野山 雅也君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山東南 RC 4 月 20 日 (水) → 4 月 20 日 (水)  
12:30~ レストラン「サンクシェール」  
見学 和歌山市消防局  
「震災に備えての防災」

和歌山南 RC 4 月 22 日 (金) → 4 月 24 日 (日)  
16:00~ 50 周年記念例会  
ダイワロイネットホテル 4F

### ○休会のお知らせ

高野山 RC 4 月 17 日 (日) 25 周年記念例会  
有田 RC 4 月 21 日 (木)  
和歌山南 RC 4 月 29 日 (金・祝)

### 7. 会員卓話 会長エレクト 田村 健治君



PETS とは、ガバナーエレクトがガバナー研修会を受けた後、会長エレクトを集めて行う研修会です。昨年の 12 月に本来は第 1 回の PETS になる予定でしたが、会長エレクト勉強会となり、その後、ガバナーエレクトが代替研修を受け今回の PETS となりました。

ご承知のとおり、現在も現ガバナーとガバナーエレクトは醜いバトルを行っています。事の発端は、パストガバナーによるガバナーエレクト指名委員会が選出したガバナーエレクトは正式な手続きを行っていないと現ガバナーが反対し、その後、エレクトは不適切としている。非常に残念なことがあります。

今回の PETS では、次年度の R I 会長エレクトがインドのカルヤン パネルジー氏となり、テーマが「ここの中を見つめよう 博愛を広げるために 家族が奉仕の原点」と報告がありました。また、新たに「チエンジメーカー賞」を増設する予定です。さらに、事務総長にはエド フタ氏が 10 年間勤めた後任として、ジョレ ヒューコ氏（弁護士）が就任します。

講義としては、「クラブ会長の務め」について、前窪パストガバナーが、会長は総括してクラブの運営に責任を持つ。予算の立案。会長として何を残せるか。また、ロータリアンは平等であると話しました。

次年度の地区のテーマは「明るく！楽しく！充実したロータリー活動を続けよう」です。楽しくなければ長続きしない。そして、ロータリー活動には進んで参加しよう。一緒に楽しめる仲間を増やそう。ロータリアンとして誇りをもとうと説明がありました。

地区の目標は①クラブの活性化、例会の出席は奉仕

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)  
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：谷脇 良樹 幹事：上野山 雅也 S A A : 三木 正博

の第1歩。米山梅吉氏は「ロータリーの例会は人生道場」である。②会員増強「1名の純増」③R I 会長賞に挑戦する④地域に役立つ奉仕活動、東日本大震災の支援⑤新世代のためのプログラムの充実としています。

一方、4月9日に現ガバナー主催のPETS開催がありましたので一応、出席しました。特別講演として、R I 2680地区の田中毅氏（尾崎RC）の講師で、RCの歴史、R I の問題点、R I の哲学などが話されました。

今後の予定としては、地区協議会がエレクト主催が5月15日（日）、現ガバナー主催が5月8日に開催され、二つの地区協議会が開かれます。

## 8. 閉会点鐘

### 次回例会

第1655回例会 平成23年4月18日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

会員卓話 田岡郁敏君



## ニコニコ・BOX

山畑 弥生君

フィリピンへ送る中古TV、パソコンの最終積み込みに数名の方にお世話になりました。有り難うございました。

土井 元司君

特にありません。

田村 健治君

今日、卓話させていただきます。



## 国際ロータリー ニュース

### 地震・津波災害、

### 日本のロータリアンからの報告

「地面はいつまでも大きく揺れ続け、これで私は死んでしまうのではないかと思いました」と黒田正宏RI理事は、3月11日の大地震を振り返ります。

医長として青森県八戸市に内科病院を開いている黒田理事は、マグニチュード9.0の地震発生時、2階で診察を行っていました。高齢の患者さんの身体を支えてあげながらゆっくり階段を下り、階下についたときに地震が治まったそうです。すべての患者に帰宅するよう伝えたところ、一人の女性患者は、怖さのあまり帰宅を拒み、その後数時間、病院内に留まったといいます。「何と言ってあげたらよいのか分かりませんでした」と黒田理事は話します。

観測史上最大を記録した今回の地震は、陸地に数キロも浸入するほどの津波を引き起こし、地域の壊滅を含む甚大な被害をもたらしました。黒田理事は、津波が

破局的な被害をもたらし、自宅や病院の数キロ近くまで押し寄せたことをラジオで知りました。寒くなる夜に備えて暖房を確保し、ろうそくや電池を準備しました。夜になると、暗くて歩くことすら困難だったそうです。さらに、余震も頻繁に起きていました。誰もが心に恐れを抱いていました。

仲間のロータリアンと連絡を取ることもできなかった、と黒田理事は話します。震災



この建物内でクリニックを開く植田俊郎氏(大槌RC) 写真提供:瀬下龍夫

後3日間は、家庭電話に携帯電話、Eメールすら使用できず、地域は完全な孤立状態にありました。最も大きな被害を受けた第2520地区(岩手、宮城)についての情報も一切得られず、それらの地域に住むロータリアンとの連絡もままなりませんでした。

第2520地区の樋山ガバナーは、震災直後、大きな被害を受けた地域に駆けつけました。海岸沿いの被害状況はすさまじく、テレビで見る内容よりはるかに悲惨な光景が広がっていたそうです。「現在も、緊急支援と行方不明者の捜索が続けられており、津波被害を受けた地域では、食糧、飲み水、ガソリン、医療品などの物資の不足が深刻な問題になっています」

今後も増えると予測される被害者数に不安をつのらせつつも、ロータリアンからの応援に励まされると、樋山ガバナーは話します。「世界中のロータリアンから数々の温かい励ましをもらった」と述べる同ガバナーは、それら支援の手に後押しされながら復興に取り組んでいこうと意志を強めました。

第2550地区(栃木)では、津波被害は免れたものの、地震による大きな被害を受けたと瀬下龍夫ガバナーは話します。地震の最中、机の下にかくれて地震が治まるのを待っていた瀬下ガバナーは、建物の支柱に亀裂が走ったとき、崩壊を予期しました。もはやこれまで、との思いが瀬下ガバナーの脳裏をよぎりましたが、幸い、建物は持ち堪えました。瀬下ガバナーは4月2日、大槌ロータリー・クラブ(岩手)会員の植田俊郎さんに救援物資を届けるため釜石を訪れました。上田さんは、津波が建物の3階まで押し寄せる中、やっとのことで階上へと逃れたそうです。

ロータリー・クラブは、被災地を支援するために、できる限りを尽くしていると、黒田理事は話します。「ガソリンが不足する状況にもかかわらず、多くのロータリアンが被災地に救援物資を届けてくれます。一丸となって活動するロータリアンの姿に、私は心から感激しています」



4月は  
ロータリー雑誌月間